

## 令和6年度第1回岐阜県動物愛護推進協議会 議事概要

### <日時>

令和6年10月10日(火) 13:30~15:06

### <場所>

岐阜県シンクタンク庁舎3-1会議室(Zoomによるオンライン併催)

### <委員>

(公社)岐阜県獣医師会長 柴田真治

岐阜大学応用生物科学部附属動物病院長 渡邊一弘

(一社)岐阜県動物愛護ネットワーク会議代表理事 糸田恵子

岐阜市保健所生活衛生課長 阿部光宏

岐阜県動物愛護センター所長 細川博昭

### <事務局>

岐阜県健康福祉部生活衛生課長 安江智雄

岐阜県健康福祉部生活衛生課 河合邦育、松野広大

### <議題>

議題1 令和5年度の事業報告について

議題2 令和5年度統計

議題3 岐阜県動物愛護推進員の公募について

### <議事>

#### 【議題1】

・資料1について事務局から説明

(委員)県で実施した動物愛護教室について、前年度と比較して実施回数は増加しているが、受講者数が増加していないのはなぜか。

(事務局)1回当たり平均受講者数が少ないためである。この事業の多くは小学校で開催しており、昨年度は前年度に比べ、規模の小さい小学校で多く開催したことが考えられる。

(委員)地域猫不妊去勢手術について、手術者数等が原因で手術可能頭数に限りがあるのであれば、比較的手術時の負担が少ない雄を優先的に捕獲して手術を実施してはどうか。

(事務局)雌雄を区別して判別することができないため、雄の手術を優先的に行うことは困難である。

- (委員) 不妊去勢手術を動物愛護センターで行う場合、同センターから遠隔の地域には移送の負担が大きい。地域猫活動を推進していくには、不妊去勢手術委託事業を東濃圏域以外の地域にも拡大していくべきである。
- (事務局) 東濃圏域以外の地域については、相談件数や不妊去勢手術の実績が少なく、また動物愛護センターに地域猫手術室を整備して受入態勢を整えたことから、まずは動物愛護センターで対応することにしたい。
- (委員) 特定の飼主のいない猫を動物病院で受け入れるには、様々な伝染病を持っていることがあるため、院内感染対策が課題となる。(一社)岐阜県獣医師会において、東濃地域における不妊去勢手術委託事業を受けるに当たり、各動物病院と協議し、その結果、対象の猫の手術時間を特別に設ける、消毒を徹底するなどの対策を講じることのできる13の動物病院が登録した。
- 今回の、東濃圏域における動物病院の取組みはモデルケースになっており、他圏域にも情報提供していることから、今後、拡大する場合には、比較的スムーズに受入態勢が構築できるものと考えている。

・資料2について動物愛護センターから説明

(委員) ボランティアの中には、一人で何十頭保護している方もいる。ボランティアの負担軽減には、動物愛護センターで譲渡する頭数を増やす必要があるのではないか。

(委員) 譲渡頭数増加に向けて、今後も検討していきたい。

・資料3について岐阜市保健所から説明

・委員等からのご意見 なし

## 【議題2】

・資料4について事務局から説明

(委員) 動物愛護に関する課題は地域ごとに検討すべきであり、統計データについては、全県のトータルの数値だけでなく、保健所ごとにも示すべきである。

(事務局) 次回の会議において、保健所ごとに整理したデータを資料として提供したい。

## 【議題3】

・資料5について事務局から説明

(委員) 岐阜県動物愛護推進員の任期満了後、継続を希望される場合、どのように手続きを行えばよいか。

(事務局)所管の保健所が継続希望の有無について確認の連絡がある。その際、継続の意思を伝えていただければ、保健所から県庁に推薦され、委員は継続される。

【その他】

岐阜県動物愛護ネットワーク会議糸田代表理事から、牛舎に住み着く猫について課題意識をもって研究に取り組む飛騨高山高等学校について報告

(15:06 閉会)